

いじめ未然防止モデルプログラム 活動のマトリクス

伊達市立関内小学校

	ア 道徳、総合的な学習の時間、特別活動等の教科・領域等の関連を図ったプログラム	イ 子ども会議等の児童会・生徒会活動との関連を図ったプログラム	ウ 社会教育（家庭や地域）と連携した体験活動との関連を図ったプログラム	エ （その他）道徳教育・人権教育・情報モラル教育等との関連を図ったプログラム
① 居場所 教師が主体	<p>【話し合い活動等の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各学級での各教科等において、話し合いや発表の活動を充実させ、互いのよさを認め合う機会を増やす。 <p>※【命の授業】【手話集会】</p>	<p>【アンケートを活用した教育相談】</p> <ul style="list-style-type: none"> 年2回実施するいじめアンケートの結果を参考に教育相談を実施し、学級経営に生かす。 <p>※【児童アンケート】</p>	<p>【地域の人材を活用した学習活動の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> 総合的な学習の時間等において、地域の方や様々な障害がある方を講師に招いて学ぶ。*カーリング※【とうもろこし栽培】 	<p>【道徳教育の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「命の尊さ、健康・安全の大切さ、より良い生き方を学ばせ、自他を尊重する」道徳教育の充実を図る。
② 絆 児童が主体	<p>【全校児童集会】</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童会三役や各委員会が中心となり、全校児童が楽しく過ごせるような会を企画・運営する。 <p>【わかば会交流】</p> <ul style="list-style-type: none"> 低学年とお年寄りが交流する。 	<p>【全校遊び】</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童会が中心となり、ふれあいを深めるため、休み時間に定期的に行う。 <p>※【やさしさ貯金】</p> <p>※【プライム訪問】</p>	<p>【児童（委員会活動）による読み聞かせ】</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童（委員会活動）による読み聞かせを行う。 	<p>【1年生のお世話活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> 4～5月に6年生が1年生の朝の時間と清掃時間にお世話をを行い、最高学年としての意識の向上を図る。 下級生との登下校
③ 環境 いずれかが主体	<p>【学習規律等の掲示】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習規律の徹底に向けた掲示物を教室に掲示する。 	<p>【いじめゼロ標語の作成と掲示】</p> <ul style="list-style-type: none"> いじめをなくすための標語を全校児童に募集して校内に掲示し、意識を高める。 挨拶運動 	<p>【図書ボランティアによる環境整備（読み聞かせ）】</p> <ul style="list-style-type: none"> 図書ボランティアによる環境整備や読み聞かせを行う。 <p>※【仙台神楽への参加】</p> <p>※保護者面談【個別相談】</p>	<p>【人権教室】</p> <ul style="list-style-type: none"> 人権擁護委員の方を講師に授業を行う。 伊達高校陸上部と連携し全学年が先輩から陸上のコツを学ぶだけでなく、人への接し方も学ぶ【環】